

地域医療連携だより

やまびこ

発行日：平成 28 年 4 月 発行：高山赤十字病院 高山市天満町3丁目11番地 TEL 0577-32-1111 発行責任者：地域連携課

第5回 地域連携講演会

・意見交換会の開催

岐阜大学医学部整形外科教授
秋山 治彦先生

当院は地域医療支援病院として、今後も地域連携を密にしてより良い連携を築き発展させていきたいと考えています。

本年も地域医療機関・施設・行政等の皆様をお招きして「第5回 地域連携講演会・意見交換会」を2月20日（土）午後4時からひだホテルプラザにて開催いたしました。

高山市医師会長 高井先生はじめ開業医の先生方等79名、当院医師・看護師等62名、総勢141名の参加がありました。

開会の挨拶では、棚橋院長より「高山赤十字病院の地域連携の現状」を紹介しました。

講演会では、岐阜大学医学部 整形外科教授 秋山 治彦先生による「地域医療での整形外科診療の在り方」のご講演があり、出席された先生方はとても興味深く聞き入っていました。

引き続き意見交換会では、飛騨市医師会長 紺田 健彦先生の乾杯の音頭で始まり、各テーブルでの会食・歓談、テーブルを離れて新たな談笑の輪もでき、予定の時間が経過して無事閉会となりました。

今後とも地域との円滑な連携が行えるよう、顔の見える関係作りのための場を提供できるように努力して参りますので、ご協力、ご参加のほど宜しくお願いいたします。



目次

- 第5回 地域連携講演会・意見交換会の開催 … 1
- 診療科の紹介 … 2.3
- 第19回 地域連携症例検討会 報告 … 4
- 平成27年度 介護福祉従事者を対象とした地域介護研修会を終えて … 5
- 当院における核医学検査と医療連携 … 5
- 新任医師の紹介 … 6.7
- 新任研修医の紹介 … 7
- 退任医師 … 8
- 研修・講演・勉強会のご案内 … 8
- 平成27年度 第4回地域医療連携検討委員会の報告 … 8
- 編集後記 … 8

診療科の紹介

その1 内科(内分泌)

第三内科部長 柴田 敏朗

【診療内容】

糖尿病、内分泌疾患を専門にしていますが、それだけにとらわれず、高齢者診療一般、膠原病等の自己免疫疾患、腎疾患（透析を含む）など、幅広く、全人的に診療するようにしています。あわせて、そのような医師の育成にも力を入れています。

糖尿病に関しては、最も力を入れており、2型はもちろん、1型は専門医療機関として積極的に診療するように心がけています。また、当院産婦人科と協力して妊娠糖尿病の管理も重点的に行っています。あわせてメディカルスタッフの育成にも力を入れており、院内のみならず院外においても、岐阜県糖尿病療養指導士（CDE岐阜）の育成に尽力しています。メディカルスタッフとのチーム医療では、フットケア、透析予防など行っています。入院では、6日間の教育入院（月～土）コースを設定しているほか、著しくコントロール不良患者に対しても、2週間程度で、教育・コントロールが出来るように目指しています。

内分泌疾患は、大半が甲状腺疾患です。最近、頸動脈エコー検査の普及に伴って、甲状腺腫瘍の患者さんを紹介して頂くことが増えてきました。検査部門の協力もあり、甲状腺ホルモンと甲状腺エコー検査は初診当日に行っています。穿刺吸引細胞診検査を必要とするときには、日を改めて行うようにしています。癌・腺腫様甲状腺腫などの腫瘍性疾患、バセドウ病、慢性甲状腺炎（橋本橋）、亜急性甲状腺炎など、多数診療しています。甲状腺の手術は、当院のほか、患者さんのご希望で柔軟に対応しています。数は多くはありませんが、副腎疾患、下垂体疾患、副甲状腺疾患等も、専門医として診療しています。

腎疾患、膠原病等に関しては、非専門領域にはなりますが、標準的な診療が行えるように心がけています。患者さんの病状によっては、それぞれ専門施設を紹介することもあります。

診療体制

- 大学からの医師派遣状態などによって大きく左右されますが、現時点では、初診は水曜日以外、毎日、当グループの医師が担当しています。水曜日においても急を要する場合は、当日の初診担当医を通じて対応させて頂きます。
- 再診は、各医師により月・火・木・金の予約外来を行っています。
- 水曜日の午後は甲状腺エコー検査・穿刺吸引細胞診検査およびそれに付随した診察を行っています。

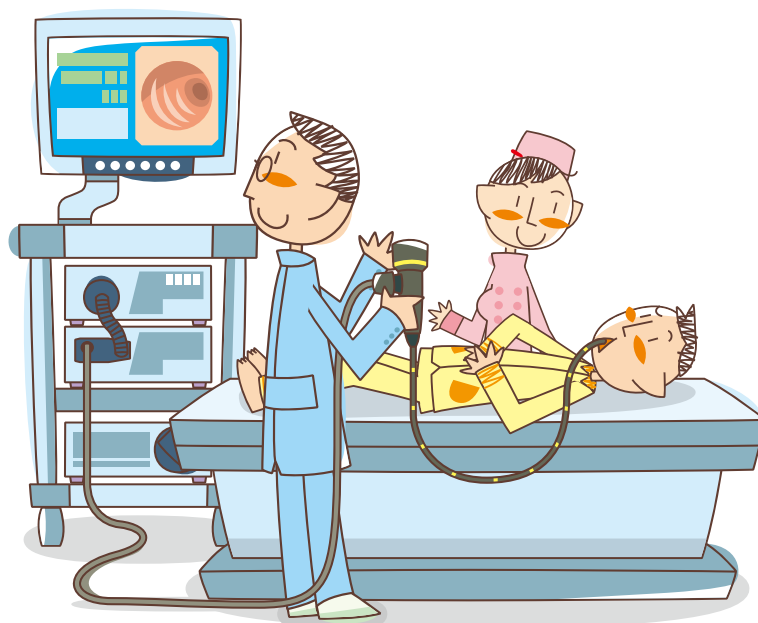
その2 内科(消化器科)

第一内科部長 兼 健診部長 白子 順子

当科では上部消化管内視鏡は年間約2400件、下部消化管は約1400件、胆膵内視鏡は約400件で、夜間休日の内視鏡、経皮経肝胆嚢ドレナージなどの緊急検査にも対応しています。朝食なしで来院いただければ当日の通常内視鏡検査(経口、経鼻内視鏡)も可能です。早期胃癌に対する内視鏡的粘膜剥離術(ESD)にも積極的に取り組み、手術不能の消化器癌に対する化学療法、放射線療法、分子標的薬治療、難治性腹水に対する腹水濾過濃縮再静注法(KM-CART)、閉塞性消化器癌に対するステント治療、ヘリコバクターピロリ菌に対しての積極的な除菌治療を行っています。

B型、C型慢性肝炎に対してはガイドラインに基づき、岐阜県肝疾患連携診療連携拠点病院として、B型肝炎に対する核酸アナログ製剤や、C型肝炎に対するインターフェロンフリーの抗ウイルス剤内服治療も行い、良好な結果を得ています。肝硬変に対しては栄養療法、生活指導、食道静脈瘤に対する内視鏡的硬化療法、肝細胞癌の早期発見、ラジオ波焼灼術、肝動脈塞栓療法などを行っています。

これからも地域の皆様と協力し、患者様により良い治療が提供できるよう頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



第19回 地域連携症例検討会 報告

平成 28 年 3 月 23 日 (水)

大腿骨非定型骨折 — 骨粗鬆症治療と地域連携 —

第一整形外科部長 前田 雅人



骨粗鬆症による脆弱性骨折は健康寿命を短縮する重大な疾患です。今回は骨粗鬆症の治療中に生じた非定型骨折の3例を報告しました。非定型骨折はビスフォスフォネート剤やデノスマブの治療中に起こる骨折です。転倒など軽微な外力で発生する大腿骨骨幹部の骨折で、受傷すると骨癒合が遷延し治療に難渋することがあります。これを予防するためにビスフォスフォネート剤の使用を5年程度に限定し、それ以降は別の薬剤にスイッチすることが推奨されています。骨粗鬆症に対して次々に効果的な薬剤が開発されていますが、その一方で薬剤の特性や副作用を熟知して使用することが求められています。

多くの場合、骨粗鬆症は骨折を契機に診断されます。しかし骨折後に適切な骨粗鬆症の治療が継続される症例は20～30%程度しかないと言われています。骨粗鬆症の治療を継続して新たな骨折を予防していくためには整形外科医だけではマンパワーが不足しています。これは全国的な問題で日本骨粗鬆症学会も病診連携による骨粗鬆症治療を推奨しています。岐阜では岐阜大学を中心に骨粗鬆症治療のネットワーク「G-NOT」が動き始めました。飛騨地域でも地域の先生方と協力し合いながら治療成績を向上させたいと考えております。ご協力をよろしくお願いいたします。

前立腺癌の診断

泌尿器科部長 柚原 一哉



前立腺癌は日本でも増加傾向にあり、根治治療を目指すには早期発見が大切です。早期前立腺癌は自覚症状なくPSA高値で発見されることがほとんどです。前立腺癌の診断の流れとしてはPSA値、前立腺触診で癌が疑われた場合、US、MRIにて画像診断を行い、確定診断として前立腺生検を施行します。今回当院における前立腺生検の成績について報告します。2007年1月から2015年1月までに1040回の前立腺生検を施行しました。受診動機はPSA高値で紹介が45.7%で最も多く、PSA検診での異常は21.8%でした。PSA値は10未満50%、10～20未満21.8%、20以上23.2%でした。癌検出率は50.1%で、そのうち限局癌が62.2%、局所進行癌が12.5%、進行癌が25.3%でした。PSA別の癌検出率は10未満34%、10～20未満51%、20以上85%でした。PSA別の限局癌率は10未満91%、10～20未満84%、20以上となると25%で、PSA値が20未満で発見される前立腺癌の多くは根治治療可能でした。以上よりPSA低値で癌を発見することが大切で、今後とも地域の先生方にもPSA測定して頂き4.0以上であればご紹介して頂ければ幸いです。よろしくお願いいたします。

当院における核医学検査と医療連携

副院長 放射線科部長 脳神経外科部長 竹中 勝信
研修医 西脇 崇裕貴

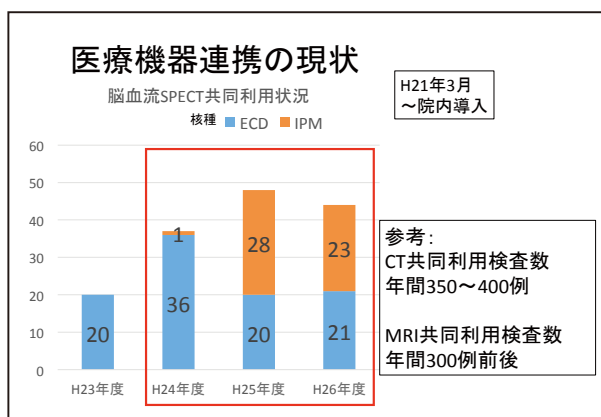
平成21年3月に最新鋭のSPECT装置が導入されました。

当院におけるこの検査機器の共同利用件数の変化を表しています。平成24年度から件数は、急激に増えました。科別にみると脳外科での検査数が多いですが、最近では認知症鑑別などのためにご紹介患者さまへの内科からの精査の件数が増加しています。

当科からの御願い

核医学検査を適切に行うことで、発症前に見つけて治療につなげたいという希望がありますので、地域の先生のご協力のもと脳血流SPECT検査、核医学検査やMRI,CTの共同利用を宜しくお願いします。

尚、当院には本年度4月より岐阜大学医学部放射線医学講座(松尾 政之 教授)より常勤の放射線医師をお迎えしております。ご指導をいただけましたら幸いです。



平成27年度 介護福祉従事者を対象とした 地域介護研修会を終えて

平成27年12月2日(水)・平成28年3月12日(土)

地域連携課 若田 きみ子

当院では、地域連携支援病院として、医療従事者および福祉関連従事者の皆様に研修会を行い、地域医療について、一緒に学んでいく取り組みを行いました。

今年度は、第1回「見直そう褥瘡予防ケア 覚えようストーマケア」のテーマで取り組みました。講義では、褥瘡発生要因～予防するための対策について学ぶことができました。予防に関しては、耐圧分散マットレスの展示や実演もあり、参加者の皆様がより実践に近い状況が体験できたのではと思われました。さらに、褥瘡が発生したらどのように管理をしたらよいかについて、最近の情報も知ることができました。

参加者の皆様からは、褥瘡・ストーマケアについて短時間でしたが、細かいところまでわかりやすく勉強になりましたとのご意見をいただきました。

第2回は、テーマを「これまでの在宅医療 これからの在宅医療」としました。病院・行政・訪問看護・調剤薬局・開業医それぞれのお立場からご講演いただきました。

超高齢社会を迎えるにあたり、多くの課題があると考えられる中、講師の皆様にも実際の取り組みや事例を詳細にお伝えしていただきました。今後も地域の連携がより必要であることを認識することができました。

第1回は74名、第2回は93名と多くの皆様にご参加いただきましたことに厚くお礼を申し上げます。

新任医師 の 紹介

- ① 診療科・職名
- ② 氏名
- ③ 専門分野
- ④ 専門医・認定医
- ⑤ 診療に対するモットー & 自己紹介 など



4月に10名の医師が赴任しましたので、ご紹介致します。



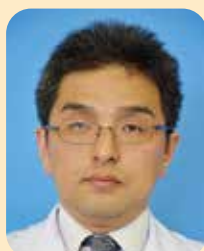
- ① 産婦人科 母子医療センター長
- ② **中野 隆** (なかの たかし)
- ③ 周産期医療・婦人科癌治療
- ④ 婦人科腫瘍指導医・専門医
がん治療認定医

⑤ 患者さんの立場で医療やケアを行っています。現在、日本母乳の会の代表理事として母乳育児を全国的に推進しています。また婦人科癌の専門医でもありハイレベルの癌治療に取り組んでいます。



- ① 放射線科副部長
- ② **可児 裕介** (かに ゆうすけ)
- ③ 画像診断・画像下治療・核医学診療
- ④ 放射線診断専門医
がん治療認定医
インターベンショナルラジオロジー
(IVP)専門医

⑤ 主に画像診断業務を行っています。患者さんを直接診療する機会は少ないですが、CT・MRI・核医学検査などの当院放射線科で行われた検査に報告書を作成し、主治医に届けることで他診療科の業務を支援しています。



- ① 整形外科副部長
- ② **光石 直史** (みついし なおふみ)
- ③ 外傷整形外科・創外固定
- ④ 整形外科専門医
スポーツ医・リウマチ医
運動器リハビリテーション医
AOTraumaJapan評議員

⑤ 2016年4月より赴任しました光石直史と申します。前任地は、滋賀県彦根市立病院で6年間勤務しておりました。整形外科外傷治療中心に診療をして参りました。当院には、研修医2年時に内科で研修を受けて以来12年ぶりになります。丁寧な診療、説明に努めてまいりたいと思います。よろしく願い申し上げます。



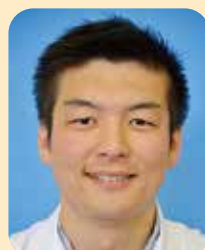
- ① 外科副部長
- ② **八幡 和憲** (やわた かずのり)
- ③ 消化器外科(特に食道・胃・大腸)
- ④ 外科専門医
消化器外科専門医
がん治療認定医
消化器がん外科治療認定医

⑤ このたび、岐阜市民病院から赴任致しました。外科は、手術はもちろんのこと術前管理や術後管理、化学療法や緩和医療など患者様と広く、深く関わることができる科であります。「患者様に寄り添う外科医」をモットーに、最善の医療を提供できるよう頑張りますのでよろしく願い致します。



- ① 内科
- ② **室賀 千英子** (むろが ちえこ)
- ④ 総合内科専門医

⑤ 地域の多職種の方々と協力・連携し、患者さんのご家族の人生をお支えるお役に立てますよう努めてまいりたいと存じます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



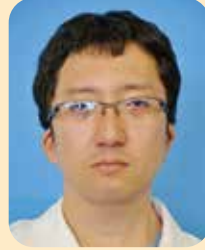
- ① 内科
- ② **奥野 充** (おくの みつる)
- ③ 消化器内科
- ④ 認定内科医

⑤ はじめまして。奥野 充と申します。岐阜大学第一内科より赴任させていただきました。安心して医療を受けていただけること・顔の見える医療をモットーに診療させていただきたいと思います。専門は消化器内科(おなかの病気)です。心配事がありましたら、お声かけください。どうぞよろしくお願いいたします。



- ①循環器内科
- ②木野村 祐二朗 (きのむら ゆうじろう)
- ③循環器内科
- ④内科認定医

⑤岐阜大学より参りました。循環器内科チームの一員ではありますが、まだまだ未熟なため、ご迷惑をおかけすることも多々あると存じます。早く病院に慣れ、皆様の役に立てるように頑張りますのでよろしくお祈りいたします。



- ①産婦人科
- ②安見 駿佑 (やすみ しゅんすけ)

⑤岐阜市民病院で初期臨床研修後、岐阜市民病院、岐阜県総合医療センターで勤務し、この度高山赤十字病院に赴任致しました。若輩者ではございますが、誠心誠意努めてまいりたいと思っております。



- ①小児科
- ②門脇 紗織 (かどわき さおり)

⑤はじめまして。小児科の門脇といいます。昨年度までは、岐大小児科に勤務していました。高山に来たのは初めてですが、いろいろな方にいい所だと聞いて、楽しみにしています。まだまだ未熟で経験も少なく、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、患者さんに対する責任感を大切に頑張りますので、ご指導よろしくお祈り致します。



- ①整形外科
- ②榎 利衣 (まき りえ)
- ③整形外科

⑤はじめまして。愛媛、京都を経てこの高山へ参りました。全てが初めてのことばかりで右往左往しています。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、患者さんが少しでも前向きに治療や手術に臨めるような手助けができればと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

新任研修医の紹介

4月に8名の研修医が赴任しましたので、ご紹介致します。どうぞ宜しくお願いします。



きりやま しゅんや
桐山 俊弥



たにぐち なつぎ
谷口 奈都希



とほら りょう
戸原 遼



はやし かな
林 佳奈



ひらの みやび
平野 雅



ませ じゅんいち
間瀬 純一



みなくち けいた
水口 景太



きたむら ゆう
北村 優



退任医師

外科部長 佐野 文	3月31日付	産婦人科 高橋 麗奈	3月31日付
整形外科副部長 喜久生 健太	3月31日付	産婦人科 坂堂 美央子	3月31日付
小児科 新井 隆広	3月31日付	研修医 伊東 政也	3月31日付
外科 沖 一匡	3月31日付	研修医 大村 一史	3月31日付
内科 野々村 健太	3月31日付	研修医 熊谷 信利	3月31日付
眼科 桑山 創一郎	3月31日付	研修医 杉 朋幸	3月31日付
内科 鷺見 聡子	3月31日付	研修医 西脇 崇裕貴	3月31日付
循環器内科 馬場 慎也	3月31日付	研修医 熊谷 千紗	3月31日付
整形外科 世沢 さ胤	3月31日付	研修医 田口 恭平	3月31日付

研修・講演・勉強会のご案内

・「第26回 ひだ糖尿病コ・メディカルセミナー」

H28年6月25日(土)13:30より 高山赤十字病院 本館3階 講堂

※詳細は、追ってご案内いたします。

平成27年度 第4回地域医療連携検討委員会の報告

標記委員会を11月18日(水)に開催いたしました。

委員会では紹介率・逆紹介率、地域連携の現状などの業務実績について報告をいたしました。又、新年度の産婦人科の体制のことや、岐阜県地域医療連携ネットワーク「ぎふ清流ネットワーク」について報告いたしました。

意見交換では、主に地域包括ケア病棟の運用について、社会的入院について委員の方からご意見を頂きました。

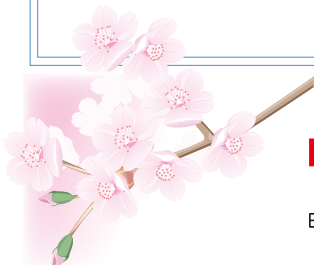
編集後記

患者さまのご紹介やお問い合わせを通し、開業医の先生方はじめ各関係者のみなさまにお世話になっている地域連携課の平野です。

飛騨地域の人口バランスは日本の30年先を歩んでおり、現在の医療現場は、まさに日本の未来。人材を含め限られた医療資源のなかで、この地域がひとつのロールモデルとなるような関係性を築けるよう、きめ細かな配慮を心がけています。日ごろお目にかかる機会はありませんが、受話器を通じて病院とみなさまとの連携強化のお役に立てればと存じます。

引き続き、何卒よろしくお願い申し上げます。

地域連携課 平野 法子



日本赤十字社

高山赤十字病院
地域連携課

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

〒506-8550 岐阜県高山市天満町3丁目11番地
TEL : 0577-35-1880 FAX : 0577-32-1165
メールアドレス byoshin@takayama.jrc.or.jp
ホームページ <http://www.takayama.jrc.or.jp/>